

血中 APR スコアー及び α1-酸性糖蛋白		9019500			
		担当部署			
血中 APR スコア及び α1-AG		生化			
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		APR スコア 特記事項なし α1AG 特記事項なし			
オーダー手順	1	APR スコア 電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→免疫・自己抗体→ α1AG 電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→免疫・自己抗体→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		APR スコア 特記事項なし α1AG 特記事項なし			
検査受付時間		APR スコア 8 : 15~16 : 00 α1AG 8 : 15~16 : 00			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		APR スコア 特記事項なし α1AG 特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-

3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		すべて室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		APR スコア 冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ) a1AG 冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
<b>検査結果・報告</b>					
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		APR スコア 当日中～翌日 a1AG 当日中～翌日			
生物学的基準範囲		APR スコア 各項目 SOP に準ずる。 a1-A G 42～93mg/dL N-アッセイ T I A a1-A G ニットーポー添付文書			
臨床判断値		APR スコア 各項目 SOP に準ずる a1AG 設定なし			
基準値				単位	a1AG mg/dL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
APR スコア 設定なし	APR スコア 設定なし	APR スコア 設定なし	APR スコア 設定なし	APR スコア 設定なし	APR スコア 設定なし

α1AG 42	α1AG 93	α1AG 設定なし	α1AG 設定なし	α1AG 設定なし	α1AG 設定なし
パニック値	高値	APR スコア 設定なし α1AG 設定なし			
	低値	APR スコア 設定なし α1AG 設定なし			
生理的変動要因		APR スコア 特記事項なし α1AG 特記事項なし			
臨床的意義		<p>APR スコア</p> <p>APR スコアは、3種の急性期蛋白(CRP、α1-酸性糖蛋白、ハプトグロビン)の定性検査を行い、結果をスコア化して炎症の有無を判定する簡易検査である。新生児細菌感染症を疑う補助的なベッドサイド検査として開発され、APR スコアのそれぞれの蛋白は、ウイルス感染症では増加率が低いこと、新生児の時期に組織壊死など他の APR スコアを増加させる要因が考えにくいことから、高いスコアが出た場合、細菌感染症の可能性が高いと判断できる。</p> <p>APR スコア定性は、α1-酸性糖蛋白、ハプトグロビン及び CRP の 3 つを測定した場合に算定する。</p> <p>ファルコバイオシステムズ検査案内より</p> <p>α1-A G</p> <p>α1 アシドグリコプロテイン(α1AG)は血清蛋白の一種で、電気泳動上 α1 分画中に認められる分子量約 4 万の糖蛋白である。</p> <p>糖含有量がきわめて多く、重量の約 4 割近くを占める。</p> <p>5 本ある糖鎖の分子量は 2400～3100 で、それぞれ異なる糖鎖構造をとっており、末端にはシアル酸が付着している。</p> <p>α1AG のシアル酸含最はきわめて多く、電気泳動上の不均一性は糖鎖構造の違いによるものとされている。</p> <p>α1AG は C 反応性蛋白(CRP)をはじめとする急性相反応性物質(acute phase reactants)の一種である。</p> <p>急性相反応物質とは組織の損傷や感染、急性の炎症に対して非特異的に急性相反応を誘起する物質の総称である。</p>			

	<p><math>\alpha</math>1AG や CRP のほか、<math>\alpha</math>1 アンチトリプシンやセルロプラスミン、ハプトグロビンなどが急性相反応物質に分類され、急性・慢性感染症、自己免疫性疾患、アレルギー疾患などにより産生が亢進し血中濃度が上昇する。</p> <p>また、<math>\alpha</math>1AG にはプロゲステロンと結合し失活させる作用が知られている。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 445</p> <p>また当院では、<math>\alpha</math>1AG・CRP・ハプトグロビンは新生児感染症スクリーニングの APR スコアに用いられる。</p>
--	---